

## 総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（4月～6月）

県内の総合型地域スポーツクラブ（以下：クラブ）は各地域でそれぞれの特徴を活かし、活動しているところですが、近年では課題が多く、運営が厳しいクラブもある様です。理由は様々ありますが、主に財源や人材・活動拠点の確保などが挙げられます。クラブ設立時から現在ではスポーツを取り巻く環境の変化が大きく、運営側も当初の意欲を損ない始めている実態があります。どうすれば良いのかは、クラブの形態によって様々なので一概には見つかりませんが、「自分自身が楽しみながら取り組むことができているのか」という点を見つめ直し、クラブの体制を再構築することが重要です。今後も多様化していく社会情勢の中で地域課題は多くなります。その中で、クラブが地域に根付き、持続可能なスポーツ環境を構築していけるようなアドバイスを心掛けていきます。

### 4月

#### <福井県総合型地域スポーツクラブ育成研修会>

今年度の育成研修会では、（公財）日本スポーツ協会（以下「JSPO」）からクラブ育成課の藤原氏を招き、「総合型クラブの充実と地域スポーツの発展」というテーマでご講演いただきました。

藤原氏は、JSPO が想定するクラブの立ち位置や役割を明確にしていくことを強調され、地域スポーツの発展に向け、クラブの活躍に期待しているという事でした。具体的な支援方法として登録・認証制度を活用し、各クラブの質的向上や持続性を重要視していくということでした。

研修会終了後に参加したクラブ関係者と意見交換をしましたが、やはり大切なのはクラブが「何を目的に活動を展開していくか」ということでした。

各クラブの目的や目標に対して的確な助言ができるよう、引き続き努めていきます。

また、今後は制度の普及や登録クラブ、認証クラブの強みを引き出せるよう行政への働きかけも工夫して助言していきます。



研修会の様子

#### <機能強化支援事業>

今年度も、クラブの認知度向上や新規会員獲得（中学生の活動等）を図るため、県補助事業として1クラブにつき上限10万円を支援します。（先着15クラブ）SC全国協議会の登録クラブであることが前提ですが、比較的取り組みやすい予算となっています。

本県独自の予算を有効に活用し、常に前向きなクラブ運営を心掛けて欲しいと思います。

# 5月

## <地域スポーツ推進団体連絡会議>

地域スポーツの環境整備を図るため、標題会議が行われました。4年目となる本事業の課題としては、各種研修会等の狙いが参加者に伝わり辛いことです。中学部活動の地域移行などの動きを踏まえ、地域スポーツの環境整備は急務だと思えます。実際に整備を進めていくのは自治体（市町行政）が中心となるので、行政関係者への働きかけに取り組んでいるところです。

今年度も地域スポーツ環境整備に繋がるテーマを設定し、関係者が互いに意見を出し合える機会を検討していきます。

このような場はとても重要で、地域スポーツ環境整備に向けて各団体が連携していけるよう、アドバイザーとして助言活動や情報収集・提供を継続して行います。



会議の様子

# 6月

## <部活動の地域展開>

スポーツ庁より、地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する最終取りまとめ（案）が示されました。

改革の理念は、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保・充実する事を主目的とし、地域関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障するとしています。地域クラブ活動のあり方としては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ新たな価値を創出することが重要だとしています。そのため、「地域移行」から「地域展開」と名称が変更されました。この件について各市町が注目しておりますが、令和7年度は改革推進期間最終年度として、中学校3年間の事情だけに捕われず、生涯スポーツの観点から地域スポーツの環境を見直すことが重要だと思えます。市町行政にはそうした観点について助言し、各クラブについてはそれぞれの特徴を活かした連携を図れるよう助言していきます。

今年度の県内登録クラブ数は「25クラブ」です。更なる活躍が期待されます！

○登録・認証制度： 全国的な総合型地域クラブの質的充実や質的向上を目的とした「登録」と、登録クラブがその特徴を活かし、更なる発展や成長を目指すことを目的とした「認証」という2階建ての制度構造により、地域スポーツ環境の整備・発展に寄与することを目指します。

